



プールあそび楽しいよ

海陽幼稚園すみれ組



海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **49** (2018.8)

おもな内容

議員紹介	2P
所信表明	11P
一般質問	12P

海陽町議会議員

— 紹介・抱負 —

議

員

紹

介

議長 高畠 武夫

議員の皆様方の御推挙により議長の要職に就かせていただくことになりました。この重責を痛感し、改めて心に刻むところであります。

この度は新町長となり、町の基礎作りからさらに発展を目指す大変重要な時でもあります。財政状況も鑑みながら、執行部と議会が車の両輪となり、町民の負託に応えるべく努力を重ねてまいりますので、皆様方の一層のご協力を節にお願いを申し上げます。就任のあいさついたします。



副議長 橋本 朗

副議長という要職に選ばれましたことは光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しているところです。

高畠議長のもと、議会が公正また円滑に運営されますよう、微力ながら誠心誠意努力してまいりますので、今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。



東 久博

この度、新米議員として町政に参画させていただくことになりました。「明るく、安心・安全に暮らせる町づくり」のため、常に住民目線に立ち、一人ひとりの生活の質の向上を目指し、身近な存在の町議会議員として全力を尽くす覚悟ですので、よろしくお願いたします。



富田 寛

海陽町の住民で良かったと思える海陽町に、また高齢者の方々にやさしい町づくりになるよう尽力いたします。

- ① 議員報償費の2割カットへの取り組み。
- ② 第2次産業への製造業の企業誘致。
- ③ 地域包括ケアシステムに尽力いたします。

努力・精進をいたします。



佐川 富美

私は海陽町で生活して30年が経ち、いろいろな経験や体験をさせていただきました。今度は皆様のおかげで大きな舞台に立つことができました。「女性として」小さなことからコツコツと「安心して笑顔で生活できる町」を目指して、町民の皆様と共に頑張ってまいります。



叶岡 徹

「町民の皆様のお声をお町政に届けることをお約束します」町行政へのチェック及び意見、住民全体への福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指し、その実現に努力します。私は年4回の本会議で、必ず一般質問で町に答えを求めます。ご要望・ご意見があれば、いつでも言ってきたください。



総務産業建設
常任委員会

◎小山 慎
○叶岡 徹
西山幹男
戸田眞理子
長岡秀一郎
富田 寛
東 久博

文教厚生
常任委員会

◎原ひろみ
○島崎勝弘
見吉政貴
白濱輝二
高畠武夫
橋本 朗
佐川富美

議会運営委員会

◎西山幹男
○見吉政貴
島崎勝弘
原ひろみ
小山 慎

議会選出監査委員

戸田眞理子

◎委員長 ○副委員長

小山 慎



議会最年少。若い世代が頑張ります。「ふるさとを守るため」私の思いは変わりません。地方のピンチをチャンスに。常に広い視野で思いやりとスピード感を持って、誠実に取り組んでまいります。今後とも、ご指導ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

白濱 輝二



私は町民のために頑張ります。老人から子どもまで、やさしく住みよい町づくり農林水産業、商工業などの地場産業の活性化を目指し、力の限り尽くします。皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

原 ひろみ



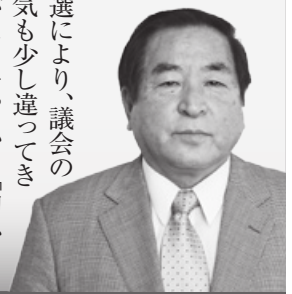
皆様のご支援で3期目の議員活動に挑戦しています。今後も町民の皆様の小さな声に耳を傾け、行政とのパイプ役として全力で取り組んでまいります。女性の視点で少子高齢化対策、防災対策など、皆様と共に笑顔はじける町づくりに全力で働いてまいります。

島崎 勝弘



魅力のある海陽町に!! 町民の皆様の声を行動を持って町政に反映し、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりを目指し、4年間議会活動に頑張っています。今後とも、ご指導のほどよろしく申し上げます。

長岡 秀一郎



改選により、議会の雰囲気も少し違ってきました。私も「初心を忘れず」4年間住民の負託に応えてまいります。少子高齢化の波は予測を上回る早さで進んでおり、行政課題は多方面に広がっています。その一つ一つを解決し、安心して生活ができる町づくりに取り組んでまいります。

見吉 政貴



住民から負託された事について迅速に対応し、住民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり、福祉の向上に努力し、4年間悔いの残らない議会活動を行ってまいります。

戸田 眞理子



自然災害が多発し、少子・高齢化がますます進む海陽町。その町づくりの課題は多岐にわたります。町民の安全・安心に対するニーズや関心も、より高まってまいります。その声に耳を傾けつつ、これからも「是々非々論」で住みよい町づくりのために頑張っています。

西山 幹男



未来に希望が持てる町づくりを実現するため、第一に少子化問題また住民福祉増進を図り、住民のニーズに添えていきます。今後とも厳しいご指導と、あたたかいご支援を賜りますことを願います。

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生
2常任委員会を設置しています。
所管の議案について6月18日、19日、に開催
された各常任委員会で慎重に調査をしました。

総務産業建設常任委員会

海 部道路ルート (案) 提示

委員長 小山 慎

6月18日開会。宍喰地
区にある中里農業構造改
善センターの巡視に行
き、巡視終了後、委員会
を再開。本委員会所管の
議案について説明を受け
た。

**条例の一部改正は、海
洋自然博物館マリンジヤ
ムにおいて体験型観光の
一つとして、新たにサッ
プを導入するにあたり料
金を設定するため。**

購入契約は、老朽化し
た消防自動車の小型動力
ポンプ付積載車2台、消
防ポンプ自動車1台を購
入し、それぞれ配備する



中里農業構造改善センターの巡視

もの。

任期満了を迎える農業
委員会の委員14人を任命
し、議会の同意を求める
もので、任期は平成30年
7月20日から3年間。

線越明許費は全12件、
総務関係では11件の総額
5億4657万円で、産
地パワーアップ事業や道
整備交付金事業、宍喰地
区防災公園整備事業、公

共土木施設
災害復旧事
業などであ
る。

特別会計
は宍喰公共
下水道事業
で3011
万円。

委員より
災害復旧費
の繰越は何
故かとの問
に、災害査
定時期によ
り、標準工
期不足とな
ったとの
説明があつ
た。

平成30年度一般会計補
正予算は2億3141万
円を追加し、総額73億
641万円。

総務費1608万円の
主なものは職員人件費の
補正と、移住定住対策や
若者交流事業に37万円。
フルマラソン大会運営費
に3230万円など。

農林水産業費8824
万円の主なものは、中里
農業構造改善センター耐
震診断委託料432万
円。国土地籍調査事業・
海部道路ルート帯に係る
ものとして6273万

円。大里松原の下草刈費
用120万円。森林の境
界明確化事業として、森
林整備地域活動支援交付
金900万円、神野・内
妻線などの林道新設改良
事業に1000万円。

商工費1941万円の
主なものは、最終年とな
るプレミアム商品券発行
事業補助金1050万
円。輅浦北町だんじりに
係る一般コミュニケーション
助成事業補助金250万
円。観光施設道の駅屋上

修繕330万円、ホテル
リビエラしきい・遊遊
N A S A に W i f i 施設
整備374万円。

土木費1120万円の
主なものは、残土処分場
予定地2ヶ所の調査検討
業務委託料200万円。
公園費として、まぜのお
かの耐用年数が経過した
スポーツトラクター1台

購入700万円。避難路
誘導灯設置及び改修に
1300万円。

消防費の主なものは
浅川・大田地区避難路
整備600万円。津波
対策費は、いずれも備
品購入として備蓄倉庫
4ヶ所400万円、避難
者用テント(60セット)
1042万円、飲料水用
給水タンク2台260万
円。

災害復旧費は、平成
29年度災害復旧工事
450万円、浅川・大山
線災害復旧工事450万
円。

う人件費の補正。
川西農業集落排水事業
は、汚泥圧送ポンプ修繕
費130万円計上。

川西簡易水道事業は、
吉田・中山の水道と櫛川・
中山の水道の連結管設計
委託業務304万円。川
西地区配水池水位計修繕
費84万円。

海部簡易水道事業のう
ち56万円は料金システム
改修委託で、未納通知を
適切な文面で表示できる
ようプログラムシステム
を改良するもの。

川上簡易水道事業は、
水源地の窓サッシ交換と
水道管の修繕費40万円で
ある。
上水道事業40万円は、
水道管内のにごり発生原
因の調査を兼ねた業務委
託料として計上。

その他に移り、委員よ
り善蔵川の河川氾濫防止
に対する要望書の進捗状
況はとの問いに、県は改
修に多額の費用が必要と
なるため計画的に進めて
行くとのことであった。

避難路整備工事 [大田地区] 600万円

浅 川大田地区の住民からの要望により避難路を新しく整備します。

避難路誘導灯事業整備 1300万円

7ヶ所(24基)にLED照明灯を整備します。

災害時快適トイレ対策 促進事業 410万円

神 野町民体育館のトイレを洋式化します。

災害に備えて安心!



避難者用テント

備蓄倉庫・避難所資機材 整備 1702万円

備 蓄倉庫3ヶ所、災害テント用60張、テント用マット508枚、ランタン60個などを各地区に備蓄します。

議

案

審

議

5

海部道路ルート帯追加



地籍調査の様子

平 成30年度は、当初久保字板取地区で実施予定でしたが、県の都市計画に伴い海部道路ルート帯に関係する区域を追加し、実施することになりました。

地籍調査事業 6273万円

サービス向上 Wi-Fiサービス システム整備費 374万円

遊 遊NASA・ホテルリビエラ両施設に、Wi-Fi機能が利用できるように整備し、宿泊者へのサービス向上を目指します。



効率アップ



現在のスポーツトラクター

老 朽化した機械を買い替え、まぜのおかの維持管理(刈りやグラウンド整備)に努めます。

まぜのおか スポーツトラクター 購入費 700万円

文教厚生常任委員会

遠隔授業システム導入

委員長 原 ひろみ

6月19日開会。

当委員会所管の議案は11議案で、その説明を抜粋し報告する。

条例の一部改正は7件あり、附属機関設置条例は、海陽町自殺対策基本計画策定委員会を設立し、支援推進するため計画調査審議を行うもので、年2回10人の委員で構成するもの。

学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正は、海陽学校給食センターの完成に伴う名称変更で9月1日から本稼働の予定。

保育事業改正の条例が2件、地域密着型サービ



海陽学校給食センター（野江）

ス事業者また介護予防支援事業者の基準の改正に伴い、介護医療院の追加や認知症に関する身体拘束の適正化を図るなどの条例改正が3件あった。

繰越明許費はESC
0事業導入支援事業に
260万円。

その後、一般会計補正
予算の説明に入った。人
事異動に伴う予算補正が
あり、その他、民生費と
して障害者福祉サービス
事業所設立の地域おこし
協力隊の雇用に303万
円。すだち寮駐車場用地
購入費に169万円な
ど。

衛生費の主なものは、
不法投棄防止の看板用ポ
スター募集報奨金16万
円。海陽町の児童に募集
し、南部圏域に配布する
もので最優秀賞・優秀賞・
参加賞費である。

教育費の主なものは、
小川線のスクールバス購
入費に468万円。学校
と地域と子どもを結びつ
けるコーディネートター
費に118万円。遠隔
授業システム導入費に
270万円、手始めに海

部小学校をモデルにIC
T機器を導入して他校と
の交流や意見交換をす
るものとの説明があっ
た。エアコン設置までの
対策として扇風機購入費
に43万円。中学校の修繕
費で海陽中学校体育館天
井照明LEDに交換40万
円と、穴喰中学校体育館
雨樋交換13万円などであ
る。

公民館費の主なもの
は、穴喰町民センター3
階に35台の机と250脚
の椅子を新規購入するも
ので681万円。委員か
ら入札方法の問いに、町
内業者を含めた入札を行
う予定との返答があっ
た。大里古墳の修繕費に
212万円。奥浦と神野
の体育館にAEDの設置
に54万円。また学校給食
費備品購入として食器食
缶洗浄機やタイムレコー
ダーなどに520万円な
どである。

その後、特別会計に入
り、穴喰診療所のキュー
ビクル老朽化による低圧
電力引き込みに140万
円であった。

その後、特別会計に入
り、穴喰診療所のキュー
ビクル老朽化による低圧
電力引き込みに140万
円であった。

教育長の任命について、
三浦 良 氏の同意を求
めるもので任期は3年と
のこと。

その他に移り、旧海部
西小学校のプールについ
ては、水を抜き掃除・草
刈りをして防災用に水を
張る。塩素消毒も考えて
いるとのことであった。
また委員から、今後子ど
もの数が減ってくるので
エアコン導入はよく考え
るべきとの意見も出た。
津波対策として、子ども
の安全を考え将来高台移
転や、統合なども考える
べきとの意見も出た。地
震災害の前に、子どもの
通学路の点検をとの要望
もあり、概要は以上で委
員会を閉会した。

その後、特別会計に入
り、穴喰診療所のキュー
ビクル老朽化による低圧
電力引き込みに140万
円であった。

徳島県指定文化財



古墳入口

大里古墳
修復工事
212万円

平 成27年度から始まった修復工事が本年度で完了します。

新しくそろえます



買い替えられる椅子

公民館
備品購入費
681万円

突 喰町民センター13階の老朽化した備品を新規購入します。会議用テーブル35台、椅子250脚。

小規模校の課題とその解消に向けて

I C T により小規模校のデメリットの解消や学びの質の向上を目指すとともに、新学習指導要領の理念を実現するために導入します。

遠隔授業システム機器購入事業
(海部小学校)
270万円

安全な通学のために



現在のバス

22 年ぶりに小川・海南小学校間を運行するスクールバスを買い替えます。14人乗りで来年1月より運行予定です。

スクールバス
購入468万円

議

案

審

議

本議会での主な質疑

条例について

Q1 学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例



長岡議員

人員体制はどうするのか。要綱で給食費の取りまとめは学校長となっているが、要綱を見直す考えはないのか。

中内教育次長

人員体制は10人で進めていきたい。

三浦町長

今後、検討もしていきたいが現状はそうなっているので、ご理解願いたい。

Q2 海洋自然博物館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例



佐川議員

マリンジヤムの職員は何名いるのか。シーカヤック・サップもするが、安全が確保できる人数は保てるのか。

横産業観光課長

職員は3人と、地域おこし協力隊1人。繁忙期には3人程度のアルバイトを雇う。職員がインストラクターとして安全に留意しながら運営を行っていく。



平成30年度
一般会計補正予算(第1号)

Q3 保育士資格取得補助金



富田議員

保育士を雇う場合、資格保有者を雇うのではないのか。

浦川福祉課長

保育士免許・幼稚園教諭免許の両方を持っていることが望ましいという方針であり、保育士で幼稚園教諭免許を持っていない職員に対しての補助である。

Q4 障害者福祉費



戸田議員

協力隊による障害者サービスの立ち上げということだが、事業展開はどのように考えているのか。地元には資格を持った人がいないので、協力隊から募集するのか。

〔303万円〕

福祉課長

町内に福祉サービス事業所が必要になってくると思われるので事業所を立ち上げ、生きがいづくりや就労支援などの事業を展開したい。

施設の職員の募集をしても人が集まらない経緯もあり、地域おこし協力隊で募集をかけ、資格保有者に事業所を立ち上げてもらいたい。

Q5 文化財保護費修繕料



小山議員

大里古墳の現状は悲惨な状態だが、今回の程度まで修繕するのか。

教育次長

本来あるべき姿に近い状態まで修復したい。

〔212万円〕

副町長の選任

島田 浩寿 副町長



第2回定例会で選任に同意。
※任期は7月3日から4年間

監査委員の選任

高木 志朗氏



第2回定例会で選任に同意。
※任期は6月21日から4年間

教育長の任命

三浦 良 教育長



第2回定例会で同意。
※任期は6月21日から3年間

教育委員会の制度が改正されています。
教育長と教育委員長は一本化され、町長との連携が強化されています。

教育委員の任命

西宮 治氏



第3回臨時会で同意。
※任期は5月27日から4年間

農業委員会委員

弘正 勝 弘憲 美一 信樹 子美 文樹 栄
仲連 泰英 利豊 英洋 植和
注 上地 岡端 注 山北 平川 中歌 大西 吉廣 西濱 富長
東岡 田田 崎田 谷



新しい農業委員会制度により、
第2回定例会で同意。
※任期は7月20日から3年間

議会のうらぐき

4月1日から6月30日まで

4月

27日 合区早期解消促進大会（東京）

5月

1日 阿南市制施行60周年記念式典（阿南市）

15日 議会広報編集特別委員会

22日 第3回臨時会（初議会）

28日 町村議会議長・副議長研修会（東京）

選挙管理委員会 委員及び補充員

[委員] 重史 子栄
貞順 裕和
本田 貢
多田 志子
吉田 惠隆 揚
[補充員] 森 榊 乾 上野
田 野



第2回定例会で指名推薦により決定。
※任期は6月21日から4年間

6月

7日 海部郡議長会総会

11日 議会運営委員会・全員協議会

12日 海部消防組合第1回臨時議会

18日 第2回定例会（1日目）

18日 総務産業建設常任委員会

18日 議会運営委員会

19日 文教厚生常任委員会

21日 第2回定例会（2日目）

22日 議会広報編集特別委員会

26日 阿南安芸自動車道期成同盟会

27日 総会（田野町）

27日 徳島県町村議長会役員選挙考会（徳島市）

第2回定例会

議案の審議

■ 平成30年第2回定例会は、6月18日開会、町長より21議案が提出され、審議の結果原案どおり可決・同意し、6月21日閉会した。

条例関係

- 附属機関設置条例の一部を改正する条例
- 学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービスに係る型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 海洋自然博物館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

契約関係

- 消防自動車(小型動力ポンプ付積載車)購入契約について
契約金額 1642万円
契約相手 徳島防災(株)
- 納期 議決日の翌日(平成31年3月22日)
- 消防自動車(ポンプ自動車)購入契約について
契約金額 1312万円
契約相手 (株)藤島
- 納期 議決日の翌日(平成31年3月29日)

予算関係

平成30年度一般会計補正予算(第1号)	2億3142万円↑
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	140万円↑
平成30年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	47万円↑
平成30年度穴喰公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	980万円↓
平成30年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	130万円↑
平成30年度川西簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	389万円↑
平成30年度海部簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	88万円↑
平成30年度川上簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	40万円↑
平成30年度上水道事業特別会計補正予算(第1号)	40万円↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

人事関係

- 副町長の選任について (P9参照)
- 教育長の任命について
- 監査委員の選任について
- 農業委員会の委員の任命について
- 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

第3回臨時会

議案の審議

■ 一般選挙後の初議会として、5月22日開会、次の議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

人事関係

- 議長選挙・副議長選挙及び各委員会構成
- 一部事務組合(4団体) 議会議員の選任について
- 徳島県後期高齢者医療広域連合議員選任について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 教育委員会委員の任命について
- 監査委員の選任について

承認関係

専決処分の承認(予算)	1億5955万円↑
平成29年度一般会計補正予算(第8号)	1億7806万円↓
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	324万円↓
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	4501万円↓
平成29年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	231万円↓
平成29年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	260万円↓
平成29年度日比原農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	20万円↓
平成29年度川上簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	109万円↓
平成29年度川西簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	20万円↓
平成29年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号)	100万円↓

注釈
↑ 増額
↓ 減額

専決処分の承認(条例)

- 海陽町税条例等の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 奨学金貸与条例の一部を改正する条例

6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	6月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億5,854万1千円	9.0
地方譲与税	0	5,800万円	0.8
利子割交付金	0	100万円	0.0
配当割交付金	0	370万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	400万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億2,430万円	1.7
自動車取得税交付金	0	1,030万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地方交付税	0	35億2,224万9千円	48.2
交通安全対策特別交付金	0	90万円	0.0
分担金・負担金	0	6,312万9千円	0.9
使用料・手数料	0	6,269万2千円	0.9
国庫支出金	615万2千円	5億3,786万9千円	7.4
県支出金	6,640万2千円	6億3,590万2千円	8.7
財産収入	0	4,463万7千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	1,043万7千円	6億5,418万6千円	9.0
繰越金	1億5,222万6千円	1億1,522万6千円	1.6
諸収入	1,700万円	5,198万6千円	0.7
町債	2,620万円	7億5,630万円	10.3
合計	2億3,141万7千円	73億6,417万7千円	100.0

歳出	6月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7,042万3千円	1.0
総務費	1,608万6千円	10億4,205万9千円	14.3
民生費	1,092万9千円	16億7,791万8千円	23.0
衛生費	695万8千円	7億5,991万2千円	10.4
農林水産業費	8,824万7千円	6億8,868万円	9.4
商工費	1,941万8千円	1億4,393万3千円	2.0
土木費	1,120万4千円	9億5,388万9千円	13.1
消防費	4,285万円	5億2,293万4千円	7.1
教育費	2,672万5千円	5億9,006万9千円	8.1
災害復旧費	900万円	6,220万円	0.8
公債費	0	7億8,172万2千円	10.7
諸支出金	0	339万5千円	0.0
予備費	0	928万3千円	0.1
合計	2億3,141万7千円	73億6,417万7千円	100.0

町の未来を守る政治

町長 三浦 茂貴

この度の町長選挙において、第3代海陽町長に就任させていただき、皆様からの大きなご期待に応えるべく、勇往邁進する所存です。

まず最初に、私たち住民は、価値観や主義主張をぶつけ合ったのちに、皆が手を取り合い共に同じ方向へ立ち向かうことで、町に力をつけ海陽を元気にする新しいアイデアが生まれてくると考えている。今までに立案された政策についても、十分な検証と再考のもとに有効な政策は継承しながら、見直すべきものは速やかに改善策を講じていきたい。

次に、政策を行っている姿勢についてお話ししたい。初登庁した際に、職員に**5点の方向性**を訓示した。

- ① 民間の当たり前を行政の当たり前にする
 - ② 前例を打破する
 - ③ できない理由を考えるのではなくやれる方法を考える
 - ④ 職員全員が経営者になる
 - ⑤ 町の将来像をみんなで共有して進んでいく
- 今後は、職員の意識改革に取り組み、積極的に研修も行いたい。

私が思い描く海陽町の将来像は「1軒に1人は

帰れる町づくり」である。

まずは**地元企業や一次産業**の育成として、現在従事している人たちの声をしっかりとお聴きし、雇用に繋げていきたい。

公共事業では町の仕事は町内業者で受注できるような仕組みを作り、町の社会資本がでる業者の確保に努めていく。その他、町に帰ってく

れば**奨学金**を免除をする

ような制度も検討する。**観光面**では、住民全員にアンケート調査をして、観光資源の発掘をしていきたい。

海南病院に関しては、住民に必要とされる病院として生まれ変わるよう、在宅医療や訪問看護などの検討も重ねていく。**教育**については、投資

も行い都市部と地方の教育格差を埋めていきたい。

また、教育環境の改善を活用した新たな取り組みも積極的に進めていきたい。

高齢者対策では、車に乗れなくなった高齢者に対し、※デマンドタクシーや町営バス路網の見直しなど、民間に協力も仰ぎつつ検討していく。

具体的には、ふるさと納税にもっと力を入れて、億単位の寄付額を目標に、民間を巻き込んだ色々な仕掛けをしていきたい。

行政というのは、あくまで民間が動きやすく、そして住民が住みやすくするためにサポートする機関である。今の時代にそぐわない条例は変え新しい条例を作り、民間と共存しながら住民の安心安全を、そして海陽町の未来を守るような政治をしていきたい。

どうか皆さんのお力添えをいただき、海陽町の最も困難な時代を共に乗り越え、新たな飛躍に向けて取り組んでいきましょう。

他にも町が抱える様々な問題に新しい発想で取り組んでいこうと思うが、それに対して必要となってくるのが**財源**である。まずは施設の統合や民営化を視野に入れ、経費削減を行っていく。

また、並行して可能性のあるところには投資を

※デマンドタクシー
利用者の事前予約に応じる形で運行経路や時間を合わせ運行すること



関西ふるさと会総会 (2018.5.27)

四方原五反田線の改修はどうなっているのか



叶岡 徹 議員

〈町長〉交渉を続けたい



四方原五反田線の未改修箇所

問 避難所までの道路の現況はどうなっているのか。大里地区・四方原地区の道路を今後直す予定はあるのか。

答 片田危機管理課長
地震の規模・揺れの方角もあるので地震発生後に通行可能か明確でないのが現状。避難経路を安全確実に利用できるような沿道家屋の耐震化の啓発に努めたい。

問 町道四方原五反田線について6年前に質問したが、当時の町長は道路が悪く非常に危険な場所と改修工事をすると言っていたが、どうなっているのか。

答 黒木建設課長
四方原五反田線は平成7年より事業着手した。用地を取得するため交渉を行ったが、協力を得られないため工事はストップしている。その後も用地交渉を行ってきたが、承諾を得られていないのが現状である。

答 三浦町長

計画はあるので交渉を続けた。今のままで進んで行かないのであれば方向転換もし、図面で通っている部分ではなく、違う方面も模索して、将来安心して安全な通行ができるようにと考えている。早急に取りかかっていきたい。

問 町内には、まだ暗い道が多くあり子どもや

高齢者にとって危険な所が多くある。防犯灯の設置はどうなっているのか。海部高校・海南小学校の通りは暗いので早急にするべきと思うが。

答 町長
早急に確認し、子どもに事故が起こらないように対策をしていきたい。反射板などの配布も検討したい。

問 DMV予算が9787万円となっているが、どのように使用するのか。運営方法は将来町に負担が掛からないようにできるのか。

答 戎谷まち・みらい課長
車両製作に着手し、現在1台目の完成を目標に進めている。今年度はあと2台の製作に着手、また駅舎改築を進める。DMV車両はランニングコスト・メンテナンスコストが削減できる。また車両自体が観光資源であるので、国内外から観光客等を引き寄せることで地域活性化などの効果を期待している。

問 町発注工事の土木建設、設備等の工事は町長公約のとおり、町内業者

で入札を実施できるのか。地元企業育成のために必ずすべきと思うが。

答 町長
町内業者ができる仕事は工事に支障をきたさない範囲で、なるべく分割して発注していきたい。地元ランク上位の業者にも入ってもらえるような工事の発注の仕方も考えていきたい。

問 高齢者の方々の大きな問題として交通手段がある。買い物や病院などに行くには町営バスでは不便なところがあり、町独自で家の前から乗れる手段を考えてはどうか。

答 町長
バス路線の見直し、デマンドバスやコミュニティバスなどの導入も視野に入れて、広い海陽町に合うような交通手段の確保に努めていきたい。

問 小中学校エアコン導入の報告があったが、海南小6年生の教室が非常に暑く、勉強に支障をきたしていることを教育委員会では把握しているのか。学校・PTA・教育委員会での問題の話し合いをしているのか。エアコ

ンは早急に入れるべきと思うが。

答 中内教育次長
一日の中で室温が高い時間帯は、教室の移動をお願いした。直接PTAと話をする機会は今までなかった。学校運営協議会などで話し合いがなされていくようになる。

答 町長
エアコンは使用期間が短いので安価に導入できる方法を検討し、導入に向けて進めていきたい。導入に掛かった費用に見合うような使用方法で検討する。

問 町長公約である来庁者への対応はできているのか。電話対応も同じである。「おはよう」「こんにちは」と職員全員ができるように課長は言っているのか。電話に出たときに「〇〇課の〇〇です」と名前は言っているのか。

答 町長
接客の方法など職員のマインドセットに取り組みたい。本気で結果を出せるよう予算も必要になると思うが、必ず変える。

般

質

問

海部川風流マラソンで町に還元できる企画はあるのか

〈町長〉
毎回進歩できる大会にしたい

〔答〕 まち・みらい課長 関係課や関係団体と協議を行い、判断していきたい。

〔問〕 楽しく走ろう講座の開催は？講座をきっかけにチャレンジする人が増え、健康増進・予防にも繋がると思うが。



風流マラソンのスタート風景

〔問〕 地域活性化のため定着してほしい海部川風流マラソン。平成31年2月17日に開催決定。募集内容、地元還元できる企画の検討はあるのか。

〔答〕 三浦町長 実行委員会と前向きに検討してきたが、毎回進歩できる大会にしたい。

と合わせ、マラソン開催を契機とした地域の活性化や特産品のPRができるよう工夫したい。



佐川 富美 議員

町営バスが運行されていない地域があるが

〈まち・みらい課長〉
交通体制を検討したい

〔問〕 五路線は主に主幹道路を走っているが、主幹道路から外れている樫小屋・小谷方面は運行されていない。また、町で開催されるイベントなどに行きたくても行けないという声に何か良い方法はないのか。

〔答〕 まち・みらい課長 高齢化が進む当町において、公共交通のあり方を検討していく上で課題となっており。高齢者対策なども含め、新しい交通体制等の検討をしていきたい。

〔問〕 現在の運行はどうなっているのか。

〔答〕 まち・みらい課長 浅川巡回線、平井線、相川線、久尾線、海部線五路線で運行している。

無医地区に出張診療をしてはどうか

〈海南病院事務長〉
訪問診療で対応したい

〔問〕 山間部においてバスの乗り入れのない、自分で行くことができない方のため、健康管理について町は何かできないのか。

〔答〕 町長 住み慣れた場所で生活できるように、総合的に海陽町に合う交通手段の確保を早急に検討していきたい。

〔答〕 地域包括ケア推進課長 現在のところ補助はない。家族・地域での助け合いが可能であれば自助・共助の力も重要である。高齢化社会に対応できる公共交通の形態を関係各課と協議検討が必要であると考える。

〔問〕 高齢者や障がい者が通院するとき、バスなどの利用が難しくタクシーなどを利用するとき費用面での負担が大きい。助成がないのであれば検討すべきと思うが。

病院通院時の助成はできないのか

〈町長〉交通手段の確保を検討したい

般

質

問

ふるさと納税導入10年、 今後の取り組みは



問 返礼品は何品目で、ユニークな返礼品はあるのか。今後考えているものはあるのか。

原 ひろみ 議員

〈町長〉住民にも宣伝マンになってほしい

答 佐藤総務課長
現在140品目となっており、近日中には約200品目になる予定。ユニークな返礼品はお墓の掃除サービスやペットフードの返礼品、サツプの体験チケットなど。今後は野菜の定期発送便や宿泊チケットなど増やしていきたい。

問 今度どのようなことに使う予定か。使い道に共感する人を募集してはどうか。

答 総務課長
竹ヶ島海中公園の自然再生推進、消火栓の備品購入や給食センターなどの備品購入に財源を投入したい。

クラウドファンディング（不特定多数の人に出資を求めること）でフルマラソン事業に共感していただいた方に寄付を募りたい。

問 町内の住民が他の自治体に寄付した金額はいくらか。実質収支は。

答 総務課長
平成29年度は68件で185万5000円。実質収支は926万円。

問 町長の公約で1億円を目指すとしたが、今度どのように展開するか。

答 三浦町長
イベント等でPRは必ずしていきたい。住民にも宣伝マンになってもらえらるようPRチラシなども作成したい。ふるさとにもに都市部が繋がっていきけるような返礼品なども考えていきたい。

問 ふるさと納税の仕組みや方法の講習会はできないのか。成人式などで啓発してはどうか。

答 総務課長
説明会などは仕組みを理解してもらおうのの有効であるが、それにより他の自治体に寄付することも考えられる。成人式での啓発も考えていきたい。



返礼品リストの一部

問 海陽町出身者に手紙やメールなど出せないのか。関西以外の地域にふるさと会設立予定はないのか。担当職員を専門に付けられないのか。

答 戎谷まち・みらい課長
ふるさと会の設立は発起人になって世話人として活躍してもらえる方を探す必要があるが、容易ではない。また、ふるさと会として活躍できる会員数が集まる地域でなければ不可能。関西以外で、どの地域で設立可能であるか検討したい。

問 手紙を出すより、まずは、こちらにいる親から宣伝してもらいたい。担当職員は是非置きたい。先進地への職員研修なども行い、時代に取り残されないよう、全てやれることはやるつもりで投資したい。

答 町長
高齢化が進み単身世帯や運転免許証自主返納者にとって公共交通は移動に不便なところはない。バスは通らない地区もあり、また、通学通院にも困っている住民もいる。町営バスの運行・時間ルート再検討はできないのか。

交通弱者の救済を

〈まち・みらい課長〉
対応策があるか検討したい

問 高齢者が外出しやすき支援をすることは認知症の予防や介護予防にもなる。バスの便を改善したりバス代を安くできないのか。デマンドバスや小さなバスなど、利用しやすい方法はないのか。相川線・浅川線・久尾線は日曜日は運休している。出かけたたくても行けないと困っている。考慮する必要があるのでは。

答 まち・みらい課長
ルートの変更が可能であるか地域公共交通会議で意見を聞き決定したい。運行時間の変更は利用者への影響や運転手

問 勤務体制に対する課題等が出てくる。どのような対応策があるか検討したい。

答 高齢者が外出しやすき支援をすることは認知症の予防や介護予防にもなる。バスの便を改善したりバス代を安くできないのか。デマンドバスや小さなバスなど、利用しやすい方法はないのか。相川線・浅川線・久尾線は日曜日は運休している。出かけたたくても行けないと困っている。考慮する必要があるのでは。

問 料金の見直しが良いのかなど、地域公共交通会議や関係機関の意見を伺いながら判断したい。デマンドバスはメリットもあればデメリットもある。利用者のニーズに応えられる方策を検討したい。

答 日曜日の運休は公共交通会議で協議を行い、利用者が無いので運行をやめた経緯がある。最適で有効な対策となる新しい交通手段について考えていきたい。

保育料を第1子から無料にしてはどうか



富田 寛 議員

問 県下24市町村のうち保育料無料化で第1子からは板野町のみ。第2子以降は4団体、第3子以降は19団体となっており、海陽町は第3子以降からである。牟岐・美波

〈町長〉 国の方針に従いたい

問 子育て世帯への支援策として町の商品券を子育て世帯に子ども1人につき15万円の商品券を経済支援として高校卒業ま

答 三浦町長 国の方針に従いたい。

答 浦川福祉課長 本町独自の子育て施策である子どもあゆみ事業を推進している。国の方針に合わせた幼児教育・保育の無償化制度の実施を行いたい。

町は第2子以降から無料で、海陽町は取り組みが遅れている。また東洋町は第1子から無料で、祝金として第1子20万円、第2子30万円、第3子以降50万円の支給となり、給食費も8割補助をし手厚いサポート体制になっている。本町でも子どもあゆみ基金を活用し、第1子から無料化して子育て世帯への支援策として取り組むべきと考えるが。

答 中内教育次長 給食費補助全体で29年

問 小中学校の給食費助成は第3子以降無償化であり、第1・2子では助成はあるものの4000円の保護者負担となっている。第1子から全額助成してはどうか。

答 町長 資金が潤沢にあるわけではないので、世間で言うバラマキにならないように、しっかりと検討を重ねて政治を行いたい。

答 福祉課長 持ち家世帯との公平性や納得性の確保など課題もあると思われるので、少子化対策審議委員会で議論を経た上で方向性を出していきたい。

問 若い夫婦世帯、夫婦と子ども1人以上の世帯に賃貸住宅やアパート入居世帯に月5000円から1万円程度の家賃助成制度を設立して、子育て世帯への支援施策とすればどうか。

答 町長 約4億円の施設が無駄にならないように、ある程度の負担をいただき内容の充実をする方が重要である。以前から取り組んでいる少子化対策の助成や食育の維持、アレルギー食への対応を進めていきたい。

問 海陽町には遊遊N.A.S.A・リビエラしきいがあり、旅館、民宿等もある。宿泊者に釣り堀を楽しんでもらうのはどうか。宍喰地区に使用されていない漁港施設があり、有効活用できなかったりもなり、観光客の増加が見込まれ雇用の可能性も出てくる。漁協と連携すれば漁獲出荷調整にも役立ち、漁業者の所得向上にもなる。隣接には町有地もあり、一帯を総合活用すれば有意義な施設になると考えるが。

度は1093万となり、仮に全額無償として試算すると約3300万円と多額の費用が必要となる。

答 町長 審議委員会の意見を受けて行政として目的を持ち、優先順位をつけて慎重に検討していく。

答 町長 海に生け簀を作つて直接新鮮な魚を買ってもらえるシステムを作れないか考えている。漁協に話を聞いて勉強していきたい。その中で釣り堀も組み合わせることができるとは思わないかと思う。

答 横産業観光課長 漁協とも調整し新たな観光客に向けた取り組みとして釣り堀事業や、その施設を活用した各宿泊施設への食材提供なども検討していきたい。

答 町長 海に生け簀を作つて直接新鮮な魚を買ってもらえるシステムを作れないか考えている。漁協に話を聞いて勉強していきたい。その中で釣り堀も組み合わせることができるとは思わないかと思う。

答 横産業観光課長 漁協とも調整し新たな観光客に向けた取り組みとして釣り堀事業や、その施設を活用した各宿泊施設への食材提供なども検討していきたい。

答 町長 海に生け簀を作つて直接新鮮な魚を買ってもらえるシステムを作れないか考えている。漁協に話を聞いて勉強していきたい。その中で釣り堀も組み合わせることができるとは思わないかと思う。

答 横産業観光課長 漁協とも調整し新たな観光客に向けた取り組みとして釣り堀事業や、その施設を活用した各宿泊施設への食材提供なども検討していきたい。

答 町長 海に生け簀を作つて直接新鮮な魚を買ってもらえるシステムを作れないか考えている。漁協に話を聞いて勉強していきたい。その中で釣り堀も組み合わせることができるとは思わないかと思う。

観光事業の一環として釣り堀事業をしてはどうか



旧漁港施設

〈町長〉 勉強し検討したい

答 町長 海に生け簀を作つて直接新鮮な魚を買ってもらえるシステムを作れないか考えている。漁協に話を聞いて勉強していきたい。その中で釣り堀も組み合わせることができるとは思わないかと思う。

答 横産業観光課長 漁協とも調整し新たな観光客に向けた取り組みとして釣り堀事業や、その施設を活用した各宿泊施設への食材提供なども検討していきたい。

問 海陽町には遊遊N.A.S.A・リビエラしきいがあり、旅館、民宿等もある。宿泊者に釣り堀を楽しんでもらうのはどうか。宍喰地区に使用されていない漁港施設があり、有効活用できなかったりもなり、観光客の増加が見込まれ雇用の可能性も出てくる。漁協と連携すれば漁獲出荷調整にも役立ち、漁業者の所得向上にもなる。隣接には町有地もあり、一帯を総合活用すれば有意義な施設になると考えるが。

般 質 問



芝下ヤスノさん

広岡字広岡

満100歳
(大正6.8.11)

・元気の秘訣

自分が作った野菜をたくさん
食べることに

・日常生活は？生きがいは？

目も耳も大丈夫で食事を作る
畑仕事が生きがい
一番好きな食べ物はバナナ

・人生で一番の思い出は？

娘との旅行
週2回のデイサービスが楽しみ



平成30年7月9日 自宅にて



議会広報編集特別委員会 ◎委員長 ○副委員長
◎橋本 朗 原ひろみ 佐川富美
○戸田眞理子 富田 寛 東 久博

編集後記

4月の町長・町議選挙を終え新体制のもと、新しい海陽町がスタートしました。

これに伴い、我々編集委員会も新メンバーで2年間お付き合いしていただくこととなります。過去最多の女性議員3名が加わり、女性ならではの視点と発想で町民に寄り添う、より読みやすい紙面作りを目指し、議会活動に理解と関心を持ってもらえるよう努力していきます。

ご意見・質問・要望など気楽にお寄せいただけたら幸いです。
(橋本)